



YOUR CHALLENGES MAKE NEW HORIZONS!

君が、世界を創造する。

2021年 2/9(火)
願書締切

3/3(水) 選抜試験
3/17(水) 合格発表

2021年度 Advancedコース
超域生募集
超域イノベーション博士課程プログラム

※
新D1
対象

給付型奨学金あり

詳細は、超域HPにて随時お知らせします
www.cbi.osaka-u.ac.jp



※新D1: 大阪大学のいずれかの大学院における区分制博士課程の後期博士課程に2020年10月に入学した者、もしくは2021年4月に入学する予定の者、または、5年制一貫博士課程あるいは4年生博士課程の3年次以降に在籍する者。

あなたにしかデザインできない未来を

あなたにしか作り出せない価値を

あなたにしか切り開けない地平を

あなたにしか創造できない「新しい世界」を

構想してみませんか

あなたの挑戦に共感し、共振する仲間とともに

私たちが今ここに生きている21世紀の地球社会が抱える課題は複雑化しています。

それはもはやたった一つの領域だけでは対応できなくなっています。

イノベーションを起こすには領域を超えなければなりません。

学問の区分を、産業の分業を、文化の差異を、社会の多様性を、超えていかなければなりません。

たとえば自動車の自動運転技術。

安全性を実現するための技術的な側面だけでなく、ルール作りに必要な法的側面、

事故の責任に関する倫理的側面についても考える必要があります。

同じことは今世紀の緊急な課題である地球環境問題にも当てはまります。

持続可能なエネルギーを創出するための技術に加えて、それらを効果的に運用するための公共政策がどうあるべきか、

またその根拠にある未来世代への責任をどう考えるかといった、多様な問題に取り組まなければなりません。

しかし、それだけではありません。

新しい技術が導入されたとき、地域のコミュニティになにが起きるのか

人間関係がどう変わっていくのか

その土地の歴史にどんな未来がもたらされるのか

そうした文化的・社会的・歴史的な側面をも考える必要があります。

誰も見たことのない未来を構想し、社会と技術の間を往還的に革新すること。

それが、本プログラムが目指す「イノベーション」の姿です。



● プログラムの概要

本プログラムは、社会における複雑で困難な状況に対して「あるべきがた」を着想し、新たな知の探求や知と知の融合を構想することにより、新たな価値を創り出す取り組みを先導できる、すなわち、社会システムの変革に至るイノベーションを様々な境域を超えて導いていくことができる高度人材の養成を目標とする教育プログラムです。本プログラムでは、在籍研究科での専門教育に加えて、文理融合・学生参加型の授業科目を擁する「社会と知の統合」に関わる独自のコースワークを提供することにより、社会システムを変革へと導く取り組みに知的体力と勇気を持って参画し、社会での実践を経て、やがては自らそれを先導する「知」のプロフェッショナルを養成することを目指しています。ここでの「プロフェッショナル」という言葉には、当該分野の知識やスキルに長けている専門家(エキスパート)に留まらず、それぞれの知を基盤としつつ他の専門家とも連携しながら社会で活躍できる人材、さらに普遍的な意味合いでの「知」の力に立脚して活躍できる人材という意味を込めています。

● 授業「超域イノベーション総合」

超域イノベーション総合は、社会における実際の問題を取り上げ、状況の理解から問題の定義、その問題に対する解決策(フューチャープラン等)の立案に取り組む、6~9ヶ月の長期プロジェクト演習です。本プロジェクト演習を通して、カリキュラムや専門研究でこれまでに学んできた知識と経験とを結びつけ、さらに全く新しい、より複雑な状況で適用できるようにするための総合的な学びを目指しています。



● 授業「自主実践活動」

自主実践活動とは、自らの知識やスキルを社会における具体的な実践の場で活用することを通じて、それらを集約した総合力を身に付けることを目的として、履修生が自主的に企画して取り組む活動です。この活動を通じて、それまでの学修の成果をより着実なものとするとともに、総合力の獲得やさらなる向上を目指します。活動内容は、インターンシップや共同研究の他、履修生の関心や専門に応じた課題に実践的に取り組むことを中心としています。

■2015~2019年、5カ年、42名の実績(その他、プログラムからの支援に依らず同様の取り組みをした履修生あり)



超域イノベーション博士課程プログラム※1 コースワークなどの概要

修了【学位記にプログラム修了を付記】

Advancedコース

それまで培ってきた知識とスキルを基盤としつつ、
社会と知の統合のための総合力を修得する実践的なコースワーク

- 企業等と連携した社会課題についての実践的なプロジェクト型授業
- 自らの関心に応じて海外の専門機関などに滞在し協働する「自主実践活動」
- チューター制度による多角的な学修支援
- 様々な経済支援

在籍研究科
での
博士論文
研究

博士後期課程
(3年間)

※2

Advancedコース履修生選抜

(書類審査+プレゼンテーション・面接審査)

大阪大学の新しいD1※4

Advancedコース履修生への経済的支援

- ▶ コースワーク等における旅費等の参加費を支援します。
- ▶ 日本学術振興会(JSPS)の特別研究員※3に導いていくために、Advancedコース1年次の間、優れた履修生を所定の条件のもとで選考した上で奨学金制度などにより支援します。2020年度実績では、D1に月額7万円、D2およびD3には月額5万円を支給しました。
- ▶ 「自主実践活動」に関して、審査を通過したものに対しては、旅費等の経費を支給します。
- ▶ 博士後期課程(生命機能研究科にあっては博士課程3年次以上)及び4年制博士課程に在籍し、かつ学業成績が優れている履修生に対し、授業料を全額免除する制度があります。(予定)

※1 本プログラムは大阪大学大学院学則第5条の5に規定されている博士課程教育リーディングプログラムの一つとして開設されています。

※2 博士課程(5年制・4年生)の3年次以降も該当します。博士課程(4年生)の場合、期間は2年間になります。なお、1年目に進級審査(QE:Qualifying Examination)が行われます。

※3 JSPSの特別研究員についてはJSPSのホームページ<https://www.jsps.go.jp/j-pd/>を参照してください。特別研究員に採用されれば、研究奨励金(2020年度予定額:月額20万円)が支給され、研究費(毎年度150万円以内)への申請が可能になります。

※4 大阪大学のいずれかの大学院における区分制博士課程の後期博士課程に2020年10月に入学した者、もしくは2021年4月に入学する予定の者、または、5年制一貫博士課程あるいは4年生博士課程の3年次以降に在籍する者。

2016-2019年度 就職先例

シスメックス、資生堂、中外製薬、日本IBM、パナソニック、三菱総合研究所、ヤンマー、横河電機、PwCコンサルティング、ダイキン工業、ソニー、ロート製薬、大阪大学、同志社大学、追手門学院大学、東京電力、JAXA、医薬品医療機器総合機構、ユークリッパ研究センターなど

募集定員

15名

応募対象

大阪大学のいずれかの大学院における区分制博士課程の後期課程に2020年10月に入学した者、もしくは2021年4月に入学する予定の者、または、5年一貫制博士課程あるいは4年制博士課程の3年次以降に在籍する者(2021年4月時点で3年次以降である者)。

選抜プロセス

選抜プロセス	期日等
願書受理期間	2021年1月4日(月)~2月9日(火)
選抜試験	2021年3月3日(水)
最終合格発表	2021年3月17日(水)13時

問い合わせ 窓口

大阪大学 超域イノベーション博士課程プログラム 事務室
TEL:06-6210-8253 E-mail: selection@cbi.osaka-u.ac.jp

